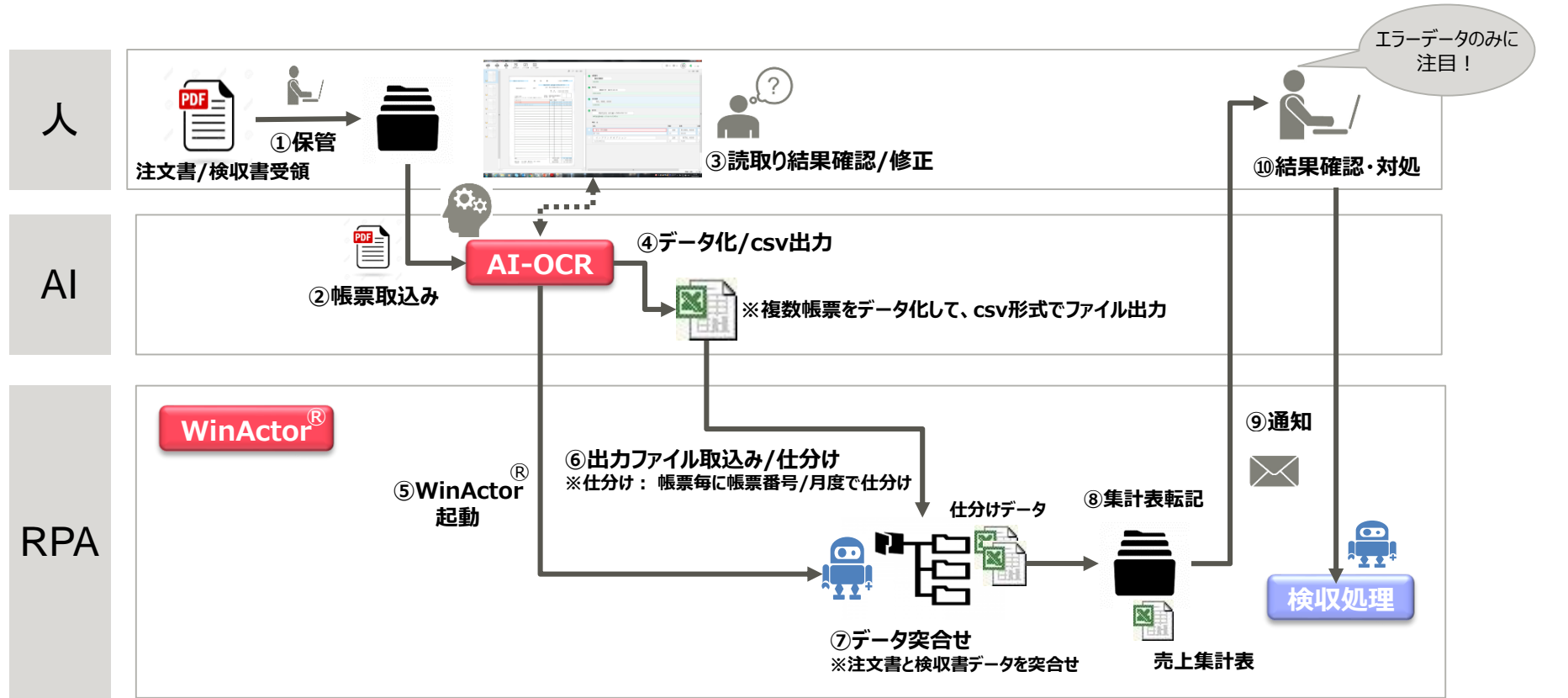


AI-OCR連携事例紹介（弊社社内事例：売上管理フロー）

※ 売上管理における、人、AI、RPAの協働イメージフローになります。
本デモでは、帳票（注文書/検収書）保管後、AI-OCRによる帳票画像取込みからデータ突合せまでのご紹介になります。



現状は、すべて人の作業となっているため、月末に集中する大量の帳票の仕分けや確認作業に時間が割かれている。

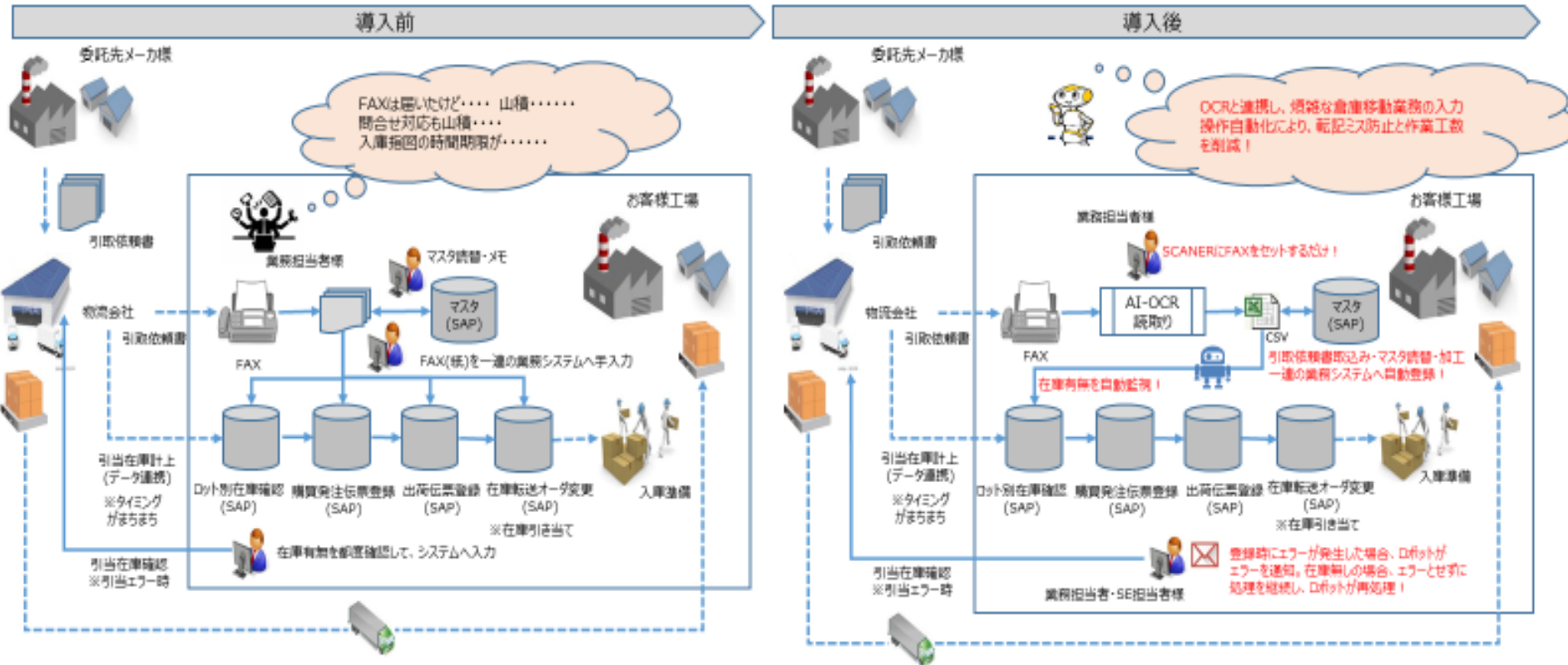


*AI-OCRは、DynaEye10 OCR帳票Entry[®]を利用しています

事例 1

【製造】物流における倉庫移動業務の自動化

導入の背景	<ul style="list-style-type: none"> ■入力作業が煩雑(入力データの読替・マスタ等の照会が必要)で時間がかかるうえ、業務の繁忙にあわせて業務担当様のシフトを調整する必要があり、課題となっていた。 ※物流会社からの引当在庫計上タイミングがまちまちであり、監視の必要もある。 ■繁忙時の精神的な負担もあり、FAXの転記ミスも課題となっていた。
施策	<ul style="list-style-type: none"> ■FAX(紙)のOCR読取り(csvファイル出力)読取りから在庫転送オーダ変更(ピッキング情報登録)までの一連の業務作業を「WinActor」にて自動化。 ■エラー発生時、ログ情報収集と業務担当皆様・SE/運用担当者様へメール通知。エラー発生時のリカバリー手順を明確化。
導入効果	<ul style="list-style-type: none"> ■作業担当皆様の作業工数を年間720時間削減。転記ミスも無くなり、作業品質が向上。 ■業務の繁忙による担当スタッフ様の調整が不要になり、問合せ対応がスムーズに行えた。



事例 2

【専門商社】受注業務・在庫使用高売上計上の自動化

導入の背景	<ul style="list-style-type: none"> ■注文書・検収書入力作業が大量で入力データの読替も多く、時間がかかるうえ、業務の繁忙にあわせて営業担当様のシフトを調整する必要があり、課題となっていた。 ※海外受注入力では、輸出通関業務が増え、入力項目も国内に比べ、はるかに多い。取引先様・商品に応じて、直送取引 or 在庫取引が分かれ、システム画面も分かれる。 ■繁忙時の精神的な負担もあり、FAXの転記ミスも課題となっていた。
施策	<ul style="list-style-type: none"> ■注文書・検収書FAX(紙)のOCR読取り(csvファイル出力)読取りから受注・在庫使用高売上計上入力までの一連の業務作業を「WinActor」にて自動化。 ■一部のマスタ照会結果(表)が特殊な構成で配置。オブジェクト認識が出来ず、項目の特定を工夫して自動化を実現。
導入効果	<ul style="list-style-type: none"> ■営業担当様の作業工数を年間1/5に削減。転記・突合せミスも無くなり、他業務への横展開を検討。 ■業務の繁忙による担当スタッフ様の調整が不要になり、問合せ対応がスムーズに行え、お客様満足度も向上。単純作業が減り、営業担当様のモチベーションも向上。

